

北海道知事 様

提出者

住 所 東京都港区三田三丁目12番14号
日本甜菜製糖株式会社
氏 名 代表取締役 小笠原 昭男
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

北海道地域商業の活性化に関する条例第25条第1項（附則第4項）の規定により、次のとおり地域貢献活動計画書を提出します。

記

1 特定小売事業施設の概要

名称	ニッテンスズランプラザ／フレスポニッテン
所在地	帯広市稲田町南8線西10番1外
敷地面積	173,141 m ²
店舗面積の合計	43,829 m ²
延べ床面積	81,808 m ²
主要（出店予定）小売店舗	イトーヨーカ堂、ホームック、ニトリ、100満ボルト
その他の（出店予定）小売店舗	ダイソー、ユニクロ 外3店
小売店舗以外の施設の種類	ボウリング場、パチンコ店、美容院 外
集客予定区域(市町村)	帯広市

2 地域貢献活動の実施に関する計画

項目	活動内容	実施時期	具体的な取組
地域団体、組織への加入	・別紙のとおり	別紙のとおり	・別紙のとおり
地域との意見交換の推進	・別紙のとおり	別紙のとおり	・別紙のとおり
地域振興等の取り組みへの協力	・別紙のとおり	別紙のとおり	・別紙のとおり
地域イベントや行事などへの参画、協働	・別紙のとおり	別紙のとおり	・別紙のとおり
地域が取り組む「買い物弱者」対策への協力	・行政からの要請に応じるよう検討します。	随時	・要請あれば検討

3 地域貢献活動の担当者

所属名	日本甜菜製糖株式会社
職・氏名	事務部総務課 課長代理 笹山幹也
電話番号等	0155-61-3100

所属名	大和リース株式会社
職・氏名	札幌支店 流通リース管理課 深掘健一
電話番号等	011-786-5141

<担当者連絡先>

所属名	日本甜菜製糖株式会社
職・氏名	事務部総務課 課長代理 笹山幹也
電話番号	0155-61-3100
電子メールアドレス	nitten-fudousan@nitten.co.jp

注1 特定小売事業施設を複数の者により設置する場合は、「提出者」欄は、連名で記載すること。

2 「2 地域貢献活動の実施に関する計画」は、条例第10条の規定により知事が策定する地域貢献活動指針にのっとり記載することとし、書ききれない場合は、記載を省略し、別添資料として添付すること。

2 地域貢献活動の概要

項目	地域貢献活動の内容	実施時期	数値目標	取組区分		地域貢献活動の実施状況 (年度)
				新規	継続	
(1) 地域との連携推進						
① 商店街、商店街連絡協議会、商工会議所・商工会等への加入	・帯広商工会議所への加入 (ヨーカ堂、ホームマック、ニトリ)	加入済	継続		○	
	・帯広商店街振興組合連合会加入 (ヨーカ堂、ホームマック)	加入済	継続		○	
② 中心市街地活性化の取組への協力	・自治体の取り組みの協力依頼があれば検討	随時	継続		○	
③ 地域イベントや各種行事など地域づくり等への参加、協力	・平原まつり(ヨーカ堂、ホームマック)	8月	継続		○	
	・よさこいソーラン(ヨーカ堂)	8月	継続		○	
	・菊まつり(ヨーカ堂)	10月	継続		○	
	・氷まつり(ヨーカ堂、ホームマック、百満ボルト)	1月	継続		○	
	・他の地域イベントへの協力依頼があれば検討	随時	継続		○	
④ 地域活動のためのコミュニティスペースの開放や地域コミュニティ醸成のための託児スペースの設置	・父の日、母の日など地元幼稚園の似顔絵展示(ヨーカ堂)	随時	継続		○	
	・マタニティ育児相談室(ヨーカ堂)	月3回程度	継続		○	
	・赤ちゃん休憩室(ヨーカ堂)	常設	継続		○	
⑤ 地域住民との協議の場の設置	・お客様の声収集 (ヨーカ堂、エコー、百満ボルト、ツルハ、エコー)	通年	継続		○	
	・要請あれば施設内会議室にて協議会の実施(他テナント)	随時	継続		○	
⑥ 地域貢献担当窓口の設置	上記「担当窓口」のとおり設置				○	
(2) 地産地消等の産消協働の取組						
① 地域企業や道内企業との取引促進	・青果、地場野菜販売のコーナー化 (ヨーカ堂)	通年	継続		○	
	・加工肉、鮮魚等地元企業との取引 (ヨーカ堂)	通年	継続		○	
	・道内店舗で扱いのある花・野菜苗を道内生者から仕入れ額の割合85%達成 (ホームマック)	通年	継続		○	
	・ゴミ処理業者、清掃業者の地元採用	通年	継続		○	
	・地元暖房機器メーカーと取引 (百満ボルト)	通年	継続		○	
	・90%道内企業と取引(ツルハ)	通年	継続		○	
② 地域及び道内の事業者のテナント入居促進	・地域及び道内テナントが多く入居 (地元率53%)	通年	継続		○	
③ 道産品の積極的な販売、PR、需要拡大に向けた情報提供	・農業高校食彩フェア(ヨーカ堂)	10月	継続		○	
	・地元商品フェア(ヨーカ堂)	随時	継続		○	
	・北海道フェア(ヨーカ堂)	随時	継続		○	
	・道内制作品の販売(イオン)	随時	継続		○	

(3) 地域雇用の確保						
① 地域及び道内からの雇用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーヘルパー社員の地元採用 (約160名=ヨーカ堂) ・正社員の毎年道内からの定期採用実績あり。契約社員は地域採用を基本(ホームマック) ・地元からのパート、契約社員採用(他テナント) 	通年 定期は3月 通年	継続 一定人数及び店舗毎必要数 継続		○ ○ ○	
② 安定的雇用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護と仕事の両立を支援する制度推進(ヨーカ堂、100満ボルト) ・保険適用等福利厚生への注力(ホームマック、ニトリ) ・パート社員2回賞与支給(ホームマック・ヨーカ堂) 	通年 随時 7・12月	継続 継続 継続		○ ○ ○	
③ 障害者、高齢者等の雇用・就業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・法定雇用率を上回る雇用をしており、継続的に就業できる職場環境を整備(ヨーカ堂) ・障害者雇用率の向上(100満ボルト、ニトリ、ツルハ、チヨダ) ・障害者の法定雇用率の達成に向け努力(ホームマック、ユニクロ) ・高齢者の嘱託雇用(ホームマック) 	通年 通年 通年 通年	継続 継続 継続 継続		○ ○ ○ ○	
④ ゆとりある勤労者生活の確保(週休2日制の定着、年末年始休暇等の取得促進)	<ul style="list-style-type: none"> ・週休2日制 ・年2回の連休制度(ヨーカ堂) ・年間休日114日間[年2回のリフレッシュ休暇を含む](ホームマック) ・リフレッシュ休暇取得促進(ニトリ、チヨダ) ・連休制(百満ボルト、ユニクロ、チヨダ) 	通年 通年 通年 通年 通年	継続 継続 継続 継続 継続		○ ○ ○ ○ ○	
⑤ 従業員の職業能力開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・接客推進リーダー配置(ヨーカ堂) ・社内資格取得推進(ヨーカ堂) ・通信教育の実施(ヨーカ堂) ・接客教育の実施 ・パートの店長採用制度(ダイソー) ・公的資格取得の推進(ホームマック、百満ボルト) ・OJT教育(ニトリ、ユニクロ、チヨダ、100満ボルト、パソコン工房) 	通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年	継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

(4) 防犯・防災対策の推進						
① 深夜等における青少年の非行防止への協力	・警備員の店内巡回	通年	継続		○	
	・店内放送で呼びかけ	通年	継続		○	
	・夜間機械警備による警備実施	通年	継続		○	
	・閉店後の駐車場施錠	通年	継続		○	
② 緊急時の物資の提供	・大規模災害時には7&iのネットワークを生かし被災地で必要とされる生活必需品などの救援物資を提供（ヨーカ堂）	通年	随時		○	
	・防災協定 帯広市からの供給依頼により災害時における応急災害物資の供給（ヨーカ堂）	通年	随時		○	
	・状況により協力を検討（他テナント）	適時	随時		○	
③ 災害時における緊急避難場所の提供	・災害時の状況に応じ緊急避難場所提供	通年	随時		○	
④ 災害時におけるボランティア活動への支援	・全国のIYと7&iのネットワークを生かし募金活動を始めボランティア活動への協力（ヨーカ堂）	通年	随時		○	
	・状況により協力を検討（他テナント）	適時	随時		○	
(5) 環境対策の推進						
① リサイクル対策等の推進	・店頭リサイクルボックスの設置（ヨーカ堂）	通年	継続		○	
	・物流通い箱（プラスチック製のコンテナ）を使用し使い捨て段ボールの使用量削減（ヨーカ堂）	通年	継続		○	
	・レジ袋削減キャンペーン実施（ヨーカ堂）	通年	継続		○	
	・レジ袋回収ボックス設置（ホームック）	通年	継続		○	
	・店頭にてリサイクル電池、インクリサイクルボックスの設置（百満ボルト）	通年	継続		○	
	・フリースリサイクルとして店頭で回収（ユニクロ）	通年	継続		○	
	・全ユニクロ商品を対象としたリサイクル（ユニクロ）	随時	継続		○	
	・家電リサイクル回収（百満ボルト、ホームック）	随時	継続		○	
	・ゴミの分別の徹底	通年	継続		○	
② 環境美化対策の実施	・店舗周辺の清掃	随時	継続		○	
	・植栽管理	年5回	継続		○	
	・地域清掃活動をボランティアにて実施（ホームック）	年2回	継続		○	
③ エネルギー対策の実施	・過剰な照明の削減	通年	継続		○	
	・空調温度の適温設定	通年	継続		○	
	・クールビズの実施	夏季期間	継続		○	
	・ウィームビズの実施	冬季期間	継続		○	
	・省エネルギー・省資源型の設備の設置（ホームック）	通年	継続		○	
・オール電化施設（ツルハ）	通年	継続		○		
④ ISO14001の導入など環境全般への配慮	・7&iに環境負荷削減を推進する「CSR推進委員会環境マネジメント部会」を設置（ヨーカ堂）	通年	継続		○	
	・地域緑化推進団体に寄付（ホームック）	随時	継続		○	

(6) 撤退時の的確な対応						
① 地域住民等への早期の情報提供	・ 撤退決定の早い段階に、店内又は店外に閉店告知を掲載するなど、情報開示する	撤退時	迅速に対応		○	
② 他企業との連携などによる従業員等の雇用の確保	・ 後継テナントに対し、地元採用の働きかけを行う	撤退時	迅速に対応		○	
③ キーテナントも含めた後継テナントの早期確保	・ テナント、管理会社の情報ネットワークにより後継テナントの早期確保を行う	撤退時	迅速に対応		○	
④ 店舗閉鎖に伴う取引企業や環境・景観への配慮	・ 閉店後も適切な施設管理を行う	撤退時	迅速に対応		○	
(7) その他まちづくりへの協力						
① 市町村等が進める交通対策への協力	・ 店内放送を通して交通安全の呼びかけ	随時	継続		○	
	・ バス路線のひきこみへの協力	通年	継続		○	
② 地域における魅力ある景観形成への配慮	・ 緑化施設の植栽管理、施設内清掃実施	随時	継続		○	
(8) その他地域貢献に関する取組						
	・ 職場体験学習や研修の受け入れ (ヨカ堂、ホマック、タイラー、エコロ、100満ボルト)	随時	継続		○	
	・ 地域の学校主催ポスターの掲示協力 (ホマック、100満ボルト)	随時	継続		○	
	・ 店内見学の実施 (フルス [®] 内全テナント)	随時	継続		○	
	・ 北海道応援基金、北大、北海学園大への寄付講座 (ニトリ)	通年	継続		○	
	・ 社会福祉協議会を通じて車椅子の寄贈 (ツルハ)	通年	継続		○	
	・ 献血運動への協力	随時	継続		○	
	・ 行政による各種調査への協力	随時	継続		○	